

Nihongo Network News

1997.12.26

発行

No.

17

東京日本語ボランティア・ネットワーク

〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1 東京ボランティア・センター気付 ☎03-3235-1171

「ぼらんていあ・めっせ・東京」に参加して TNVNのコーディネートで分科会を開催。

東京ボランティアセンター主催の「ぼらんていあ・めっせ・東京」が、11月14日(金)～16日(日)の3日間にわたり飯田橋セントラルプラザを中心会場として開催。最終日の16日にはTNVNがコーディネートした分科会が「日本に暮らす外国の方の生活支援を考える」というテーマで開かれました。参加者は約30名で、日本語ボランティアを中心に、自治体関係者・地域の児童館職員・留学生支援者など幅広い参加がありました。

この分科会では「SIC すみだ国際ナショナルクラブ」の国武礼子氏とMubaraku Elamin氏、「まちだ日本語ボランティアネット」の大原徹夫氏、「OC Net」の岡田亜子氏が事例報告者として、またアドバイザーとしてTNVNの中田紀子代表が参加しました。

最初に各報告者からそれぞれの団体の設立経緯や現状、今後の課題についてコメントがあり、その後参加者との

質疑応答という形で、具体的な事例をふまえた話が展開されました。

まず、日本語教室活動を含めた生活支援を指向するなか、会場の確保や運営資金の調達について行政の支援は必須と思われるが、未だに不十分な状況であること。また、日本語指導を必要とする児童生徒の支援に関しても、ボランティアと連携する行政の前向きな姿勢が見られないこと。

さらに、児童生徒の日本語学習上の「母語」の問題への視点。時機を逸すると日本語ができない親への軽侮の念を招きかねず、親子関係にダメージを与えかねない、という視点でのアプローチが行政サイドに欠落しているのではという指摘がありました。

さなざまな側面で活発な議論が交わされ

るなか、最終的には行政との対決を前面に押し出すのではなく、異議申し立てを繰り返しながら、互いに調整して具体的な解決をはかることが望まれるというのが、参加者の共通認識であったようでした。

最後に、外国人の生活支援を考える上で避けて通れないオーバーステイの問題に関して、「区民でもない都民でもない外国人」について言及すべきだという声も会場からあるなか、一部の事例報告で触れられたただけであったのはやや残念でした。(藤田 義雄)



『日本語ボランティア出前講習会』 板橋へ行く

TNVNでは、会員の要望に応じて講習会をそれぞれの地域へ出前していますが、去る9月27日(土)には板橋区で活動している会員「ことばのひろば」から依頼を受け、講師を派遣しました。

「ことばのひろば」は、毎年9月に新しくボランティアになりたい人のために「ボランティア準備講座」を開催しています。今年も板橋区国際交流協会の助成を受け、9月6日より27日までの土曜日全4回にわたって、大原社会教育会館で実施しました。第1回目「ともに学ぶ……何を? どうして?」(Gehrtz三隅友子氏)、

第2回目「会話を生かす異文化コミュニケーション」(荒巻基文氏)、第3回目「板橋のボランティア活動について」(中野友博氏)、第4回目がTNVNの出前講習会で、入門講習会を担当している中田代表と林川事務局長が講師となり、「日本語を教えるということ」というテーマで、心構えと実践について話しました。毎回、「ことばのひろば」スタッフによる活動紹介や秋学期準備活動もあり、非常に充実した内容になっているようでした。参加者は20名

ほどで、なかには中田代表の「講座の聞き逃げはしないように」という言葉に耳が痛いという人もいましたが、「ことばのひろば」のボランティアとして、すでに活動を始めている人も多いことでしょう。



ひろがる日本語ネットワーク

『日本語ボランティアシンポジウム'97』 名古屋で開催

12月13日(土)午前10時から、名古屋国際センターにおいて、文化庁国立国語研究所・東海日本語ネットワーク・(財)名古屋国際センターの主催によるシンポジウムが開かれ、全国から12地域の日本語ネットワークが集合しました。

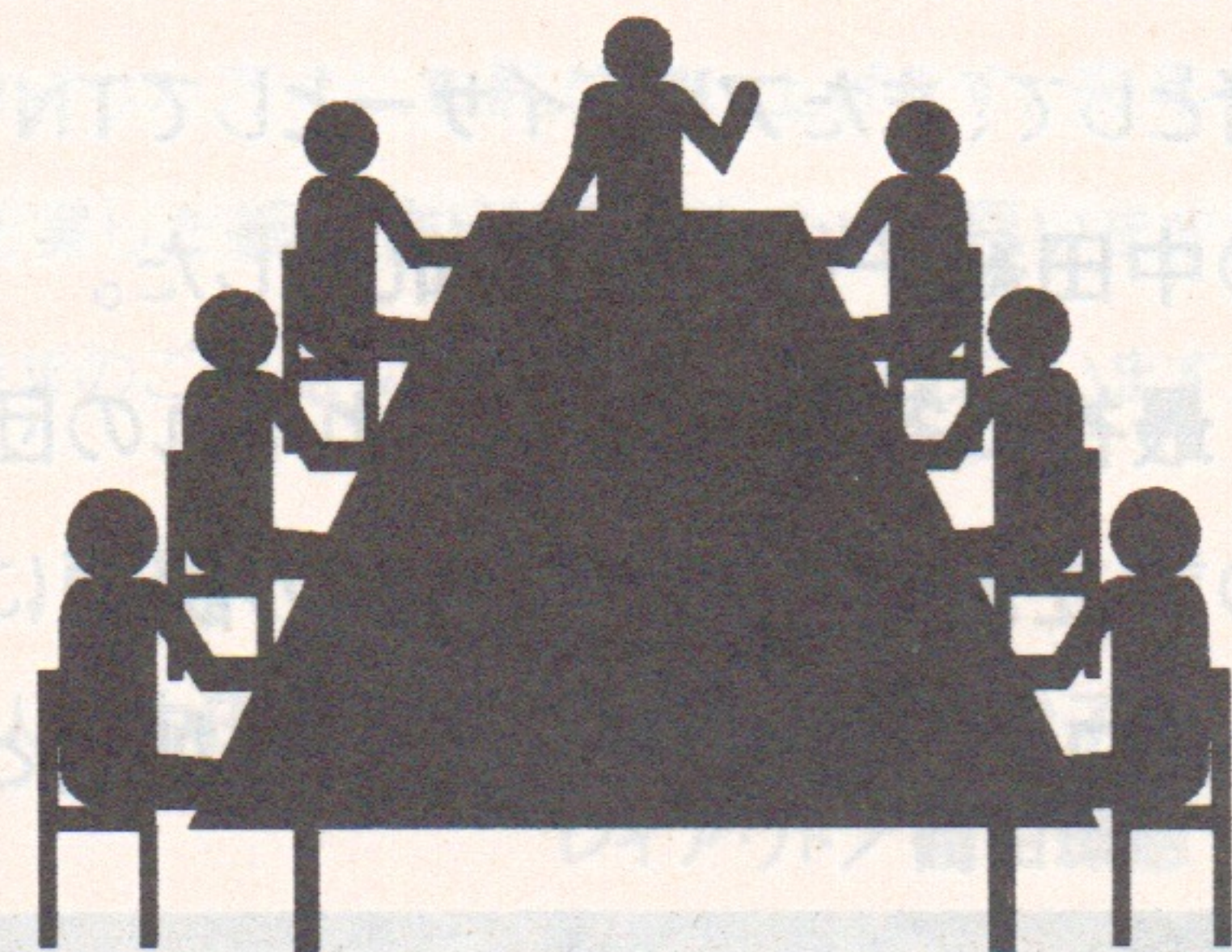
まず、春原憲一郎氏(財)海外技術者研修協会)の講演「ラディカル・ネットワーク —— 地域に豊かな根を張るために」、昼食をはさんで12地域のネットワークによるポスターセッションと交流会、

そして、パネルディスカッション「ネットワークは何をめざすか」では、東京日本語ボランティア・ネットワークを含む4つのネットワークがパネリストとして参加し、各地域のネットワークの現状、将来の展望などが話し合われました。

また、ポスターセッションでは荒川区で活動している会員の「町屋日本語教室」が東京の代表として、自主制作の漢字教材を紹介し、他地域ネットワークの注目を集めていました。北海道から九州ま

での日本語ネットワークが一堂に会するのは、これが初めてのこと。それぞれの参加者がより多くの情報を持ち帰ろうと広い会場を歩き来していました。

(林川 玲子)



データに見る外国人と日本語

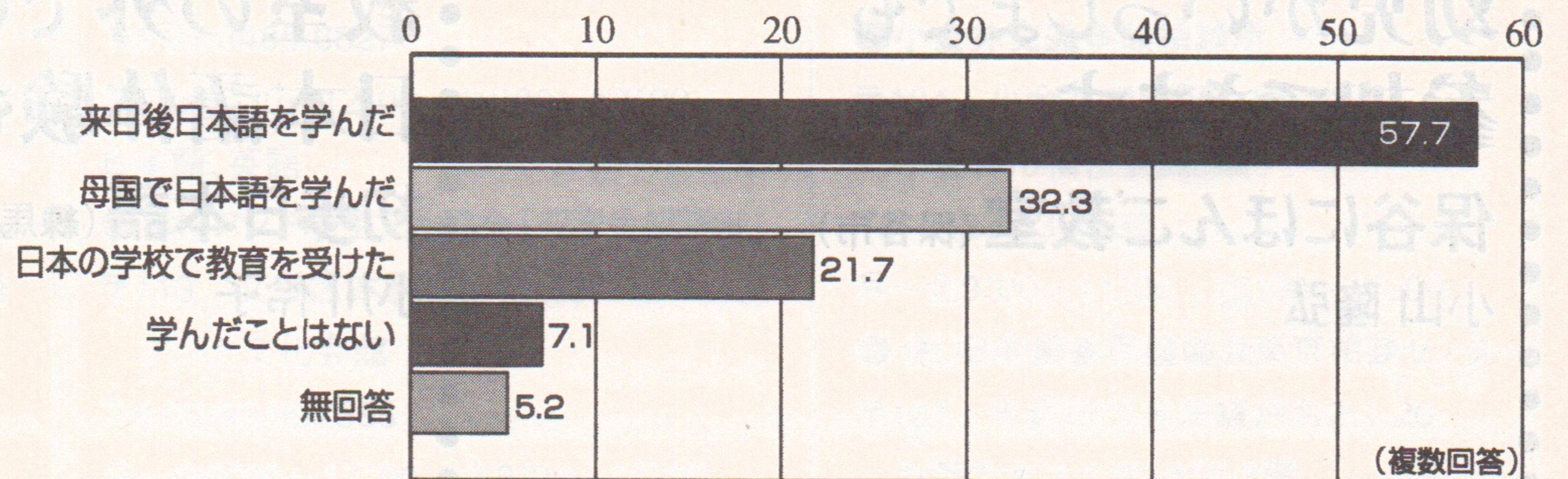
東京都生活文化局では'96年10月から11月にかけて、都内に在住する16歳以上の外国人を対象に「東京都在住外国人生活実態調査」を実施、その結果を報告書にまとめました。前回に引き続いて今回もこの調査のなかから、外国人の生活と日本語に関するデータをご紹介します。

(資料提供/東京都生活文化局国際部)

●日本語の学習経験●

回答者の約3分の1が来日前に母国で日本語を学習していて、さらに約6割が来日後に日本語の学習をしています。「学習したことはない」は全体の7%と少なく、約9割の外国人がなんらかの方法で日本語学習の経験があることがわかります。

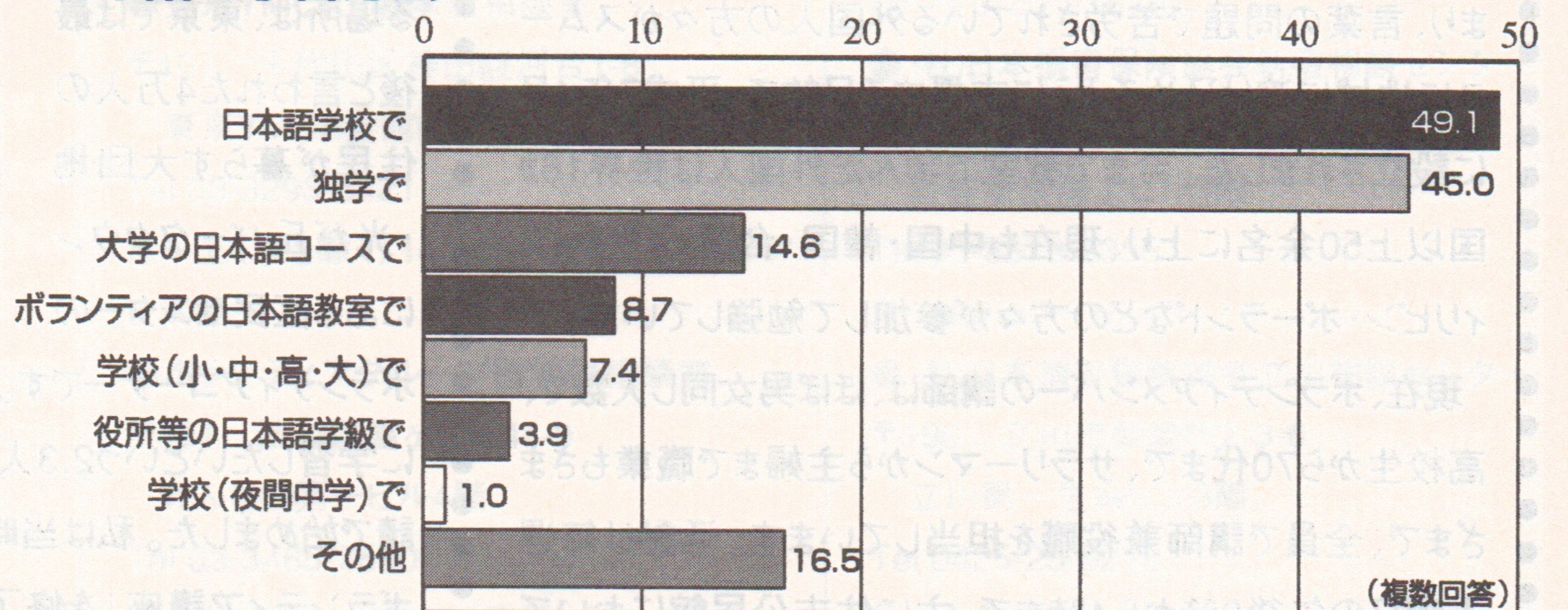
日本語の学習経験



●日本語の学習方法●

「来日後、日本語を学習した」という人にその学習方法を聞いたところ、約半数が「日本語学校で」、また「独学で」という人も45%もいます。「ボランティアの日本語教室で学習した」という人は8.7%とまだまだ少ない一方、自由記述には「授業料が高くない講座で日本語を勉強できる場所が少ない。区役所がよい教師や講座を提供してほしい」という意見もみられ、ボランティア日本語教室へのニーズの高さがうかがわれました。

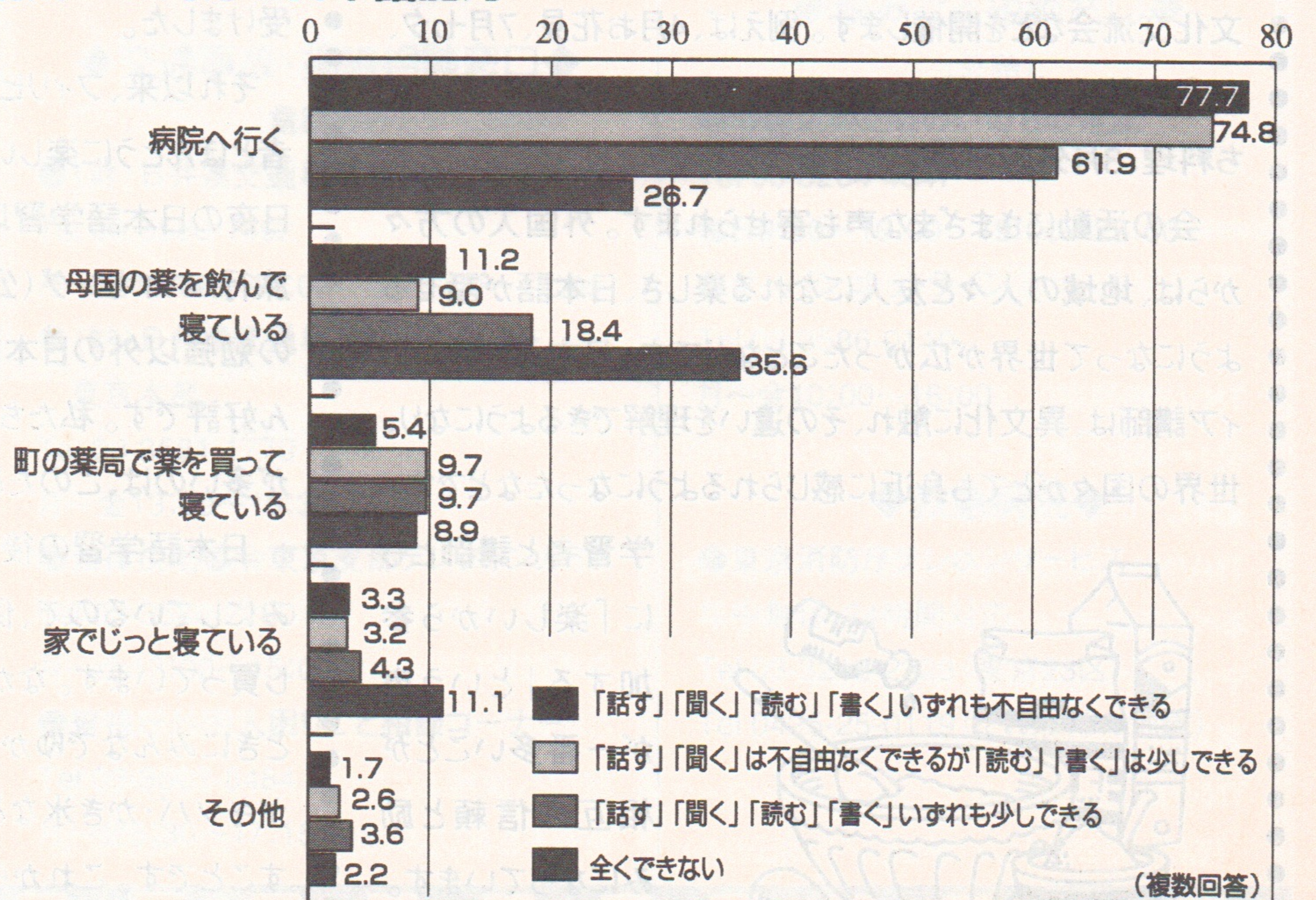
日本語の学習方法

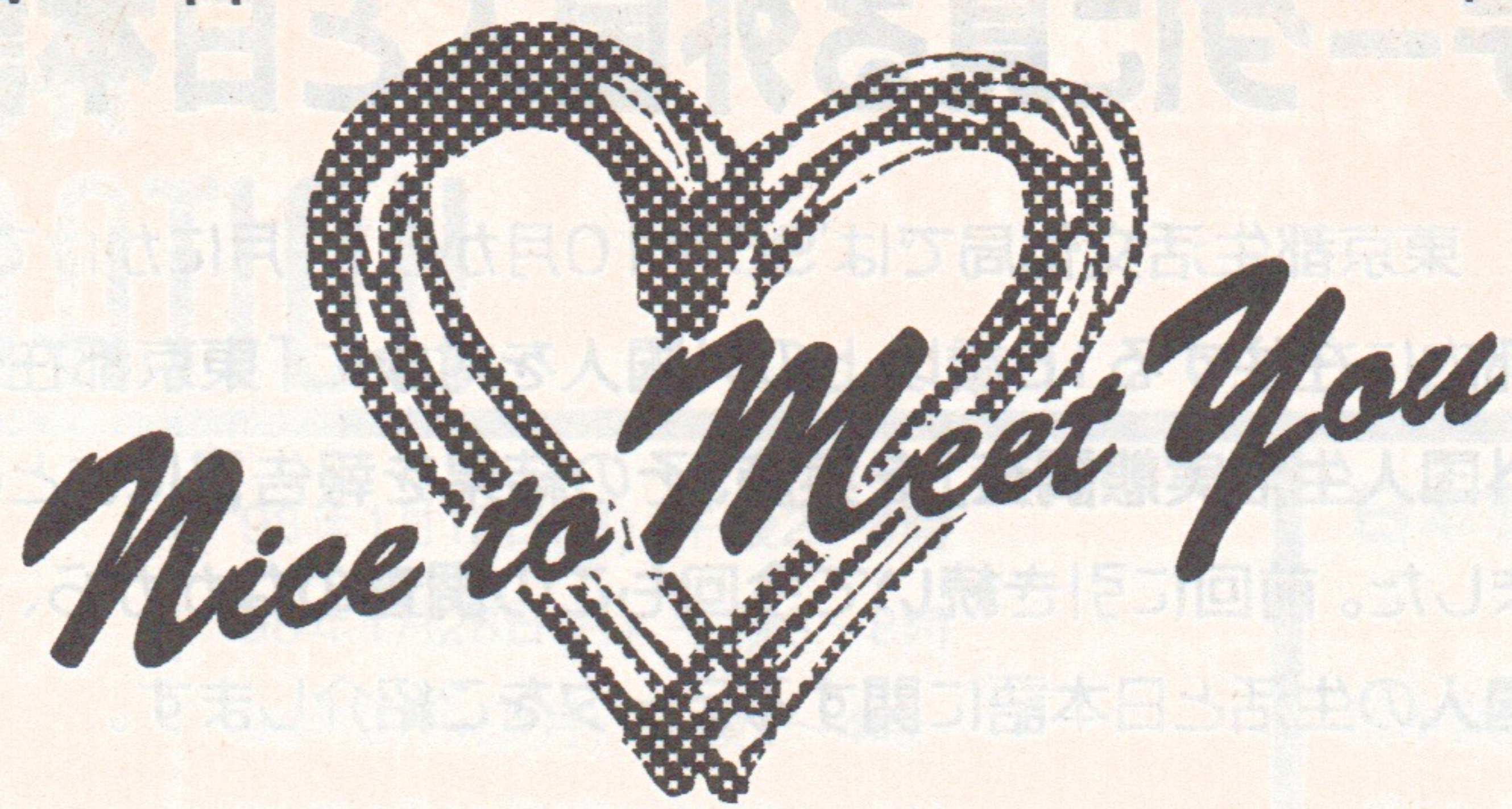


●病気への対応と日本語能力●

「我慢できないくらいに病気になったとき、どうしますか」という質問では、日本語がある程度できる人の約7割が「病院へ行く」と答えています。日本語ができない人のうち病院へ行く人は26%にすぎません。「病院へ行く」と日本語能力との相関関係はかなり高く、日常生活での日本語の必要性がわかります。

病気への対応と日本語能力





● 幼児がいっしょでも
● 参加できます

● 保谷にほんご教室 (保谷市)
● 小山 隆弘

● 保谷にほんご教室は、保谷市に共に生活する有志が集まり、言葉の問題で苦勞されている外国人の方々がスムーズに地域に溶け込めるように支援する目的で、平成7年4月に設立されました。今まで教室で学んだ外国人は世界16カ国以上50余名に上り、現在も中国・韓国・台湾・イラン・フィリピン・ポーランドなどの方々が参加して勉強しています。

● 現在、ボランティアメンバーの講師は、ほぼ男女同じ人数で、高校生から70代まで、サラリーマンから主婦まで職業もさまざままで、全員で講師兼役職を担当しています。活動は毎週土曜日の午後2時から4時まで、主に住吉公民館において教室を開いています。また、日本語教室以外に年に数回、文化交流会などを開催します。例えば、4月お花見、7月七夕、10月弁論大会、12月クリスマスパーティー、1月お正月おせち料理、3月外国料理を食べる会などです。

● 会の活動にさまざまな声も寄せられます。外国人の方からは、地域の人々と友人になれる楽しさ、日本語が話せるようになって世界が広がったことなどです。日本人ボランティア講師は、異文化に触れ、その違いを理解できるようになり、世界の国々がとても身近に感じられるようになったなどです。



● 学習者と講師ともに「楽しいから参加する」という声が一番多いことが相互の信頼と励みになっています。

● 教室の外での
● 日本語体験も人気

● 初歩日本語 (練馬区)
● 小川 伶子

● 私たちが活動している場所は、東京では最後と言われた4万人の住民が暮らす大団地・光が丘パークタウンにある区民センターの



● ボランティアコーナーです。平成6年の春、このコーナーより「夜に学習したいという2.3人の希望者があるからどうか」との要請で始めました。私は当時、練馬公民館が主催した「日本語ボランティア講座」を修了したばかりで、自信はぜんぜんなかったのですが、講座で受けた勉強を役に立ててみたいと引き受けました。

● それ以来、フィリピーナが集まってきて、今では13人の学習者とほんとうに楽しいボランティア活動を続けています。水曜日夜の日本語学習以外に1か月に1回位の割合で、カラオケ・旅行・ハイキング(公園など)などの行事を交えて、机の上での勉強以外の日本語の体験を加えています。これはたいへん好評です。私たちのグループに入りたいと希望する人たちが多いためだと思えます。

● 日本語学習の後の30分程度のお茶の時間もみんな楽しみにしているので、係がお菓子代を集めて、毎回お菓子を少し買っています。なかでも一番楽しみにしているのは、夏祭のときにみんなでゆかたに着替えて、盆踊りや屋台のビール・ヤキソバ・かき氷などを食べながら、夏の夜のひとときを過ごすことです。これからもみんな仲良く楽しく続けたいと思っています。

入管法改定

日本語ボランティアの心がけ (後編)

江戸川ユニオン 外国人部会
宇田川 正宏

なにを どう注意するか

今回は入管法改定の問題について述べたが、それではわれわれ日本語ボランティアとしては具体的にどのようなことに注意したらよいのか。日本語教室の実情に即して具体的に考えてみると、次のような例があげられる。

- ①日本語教室で担当した学習者がたまたまオーバーステイであることがわかる。
- ②まじめで性格もよい学習者で、親しくなるうち、日本語の学習だけでなくさまざまな相談にもものようになった。
- ③ある日自宅に招待した折、アパートを借りる際の保証人や、少額の借金を頼まれた。
- ④どうしよう。個人的なことだし、教室のスタッフに相談するまでもないだろう。自分の責任でなんとか対応してあげようか…。

この流れに沿って、考えてみよう。まず①②について。たいていの教室に備えられている学習者の「個人カルテ」の項目は、国籍・年齢・住所・電話番号程度にとどめておく。大切なのは、学習状況とあわせて、相談を受けた内容なども簡単に記しておくこと。そして、ボランティアスタッフのミーティングなどの際にそのメモを確認し、一人で背負いこまずみんなの共通認識としておく作業が必要である。



さて、③からが問題である。たまに学習者を自宅に招く程度は問題ないが、長期間にわたって自宅に住ませるよう

なことは「蔵匿」ととられかねない。保証人などもできるだけ避けたいところだが、どうしてもなるなら、複数人の連署とする。また、たとえ国際免許証を持っていてもオーバーステイの外国人は車を運転してはいけないので、車やバイクは絶対に乗せない、貸さないという原則を守ってほしい。

借金については、どうだろうか。貸すのであれば絶対に個人では貸さず、教室の運営費などから可能な範囲内で貸すこと。そして、その際は必ず返済計画を明らかにさせ、一筆とっておくことが重要である。逆にお金を預かるということもある。これが一番問題である。貸す場合と同様、たとえ少額であっても必ず教室の口座に入れておくこと。間違っても個人で預かってはなりません。

④に移ろう。なにしろ困ったと思うようなケースは、ひとりで心を悩ませずに、教室全体の共有の問題としてとらえる姿勢が大切である。みんなで協力しあって、あくまでも「人道上的配慮」として一貫した対応をすることを心がけてほしい。

そして、賃金未払い・労災・解雇・病気

・ケガ・結婚・出産など、問題が複雑で専門的知識が必要と思われる場合は、速やかに外国人支援グループなどの専門の機関に橋渡しをする。あくまでも、みんなで“よってたかって”困っている外国人の救済に立ち向かうのである。

民主的な 日本語教室のために

くれぐれも、このような法改定がなされたからと言って、ボランティア日本語教室が学習者を受け入れる際に人別改めをやる、などという行動に走ってはいけない。ボランティア日本語教室はこれまで通り「いつでも誰でも」

迎え入れてなんら問題はないのだ。

困ったことにならないためにも、どうかみなさんの日本語教室が風通しがよいもので、民主的な運営がされていますように。そのためには、教室運営の「原則」が守られていることが肝心。一人の突出したリーダーが支えている組織は危険である。ヘンだな、と思ったら、最低3人の共同代表制にすることをすすめてほしい。

※参考文献／「わかりやすい入管法(第4版)」
山田・黒木著(有斐閣リブレ刊)

財団法人 東京国際交流財団

東京都千代田区丸の内三丁目5番1号
Tel/03-5221-9000(代)

国際交流の拠点をめざし、 市民レベルの交流をサポート。

東京丸の内にある〈東京国際フォーラム〉は、今年1月のオープン以来さまざまなイベントの会場としてにぎわっています。これまでにコンサートや展示会、セミナーなどでここを訪れた方も多いことでしょう。

東京都の外郭団体である財団法人東京国際交流財団は、この東京国際フォーラムの管理運営を行う一方、都民参加の国際交流事業の計画・実施、情報提供、普及のためのさまざまな活動を実施しています。今回は東京国際フォーラムに同財団国際交流課をお訪ねし、交流事業についてお話をうかがいました。

- スポーツ・ホームステイから事業助成まで。
- 多彩な活動で、市民の交流を促進。

急速に国際化がすすむ現在、国際交流の形は国単位のものから市民・個人レベルでの交流まで、ますます多彩に広がっています。東京都が行っている外交が、都市と都市との交流ならば、東京国際交流財団ではそのなかに住む都民・市民相互の交流を支援・促進しているといえます。

財団では1988年設置された東京都国際平和文化交流基金をもとに、国際的市民交流の推進、民間の国際交流・協力事業への支援など、次のような交流事業を行っています。

◆姉妹友好都市児童生徒書画展の開催

姉妹友好都市(州)の児童生徒の絵画や書の展示会を、毎年秋に東京国際フォーラム及び東京都美術館で開催。'97年のテーマは「私の親友」で、

世界各国の10都市から389点の作品が集められ展示されました。

◆高校生の留学・短期交流事業

大学生の留学は多くありますが、異文化体験をより若いうちから経験するという目的から、高校生の留学・交流事業を実施しています。姉妹友好都市(州)間で高校1、2年生を対象に実施。ホストファミリー、学校、地域のなかでの体験で国際相互理解を深めています。

長期1年間の留学は、4都市に18名を派遣、5都市から39名を受け入れ、ホストファミリーのもと地域の学校に通い、その地域での生活を体験しています。ホストファミリーは、毎年度募集しています。

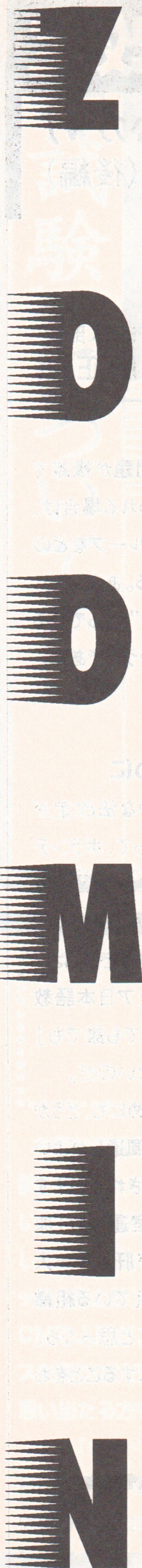
短期2週間の交流事業の場合は、6～7都市を秋に東京から高校生が訪問し、翌年春にそのときに滞在したホストファミリーから高校生が来日するというシステムで、二度にわたって相互に親交を深めることができるよう企画されています。

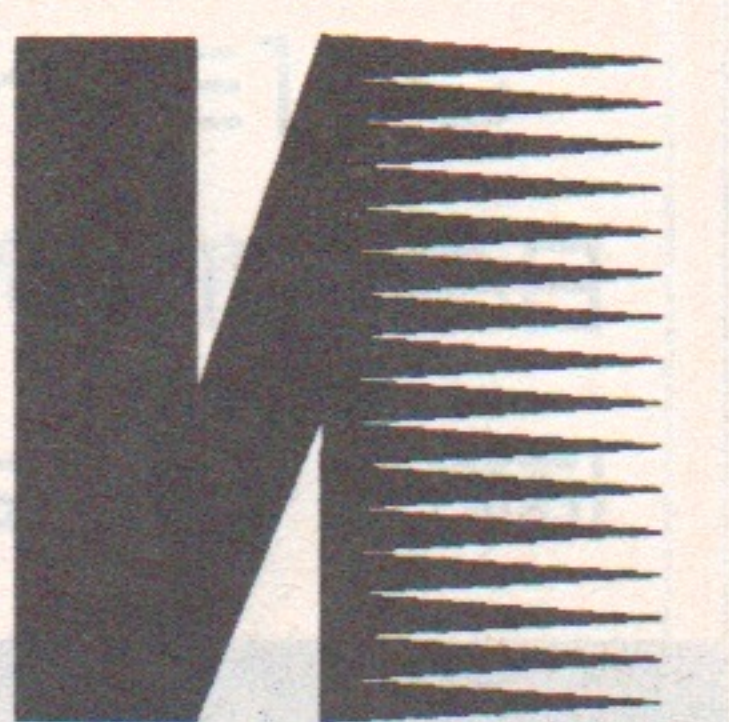
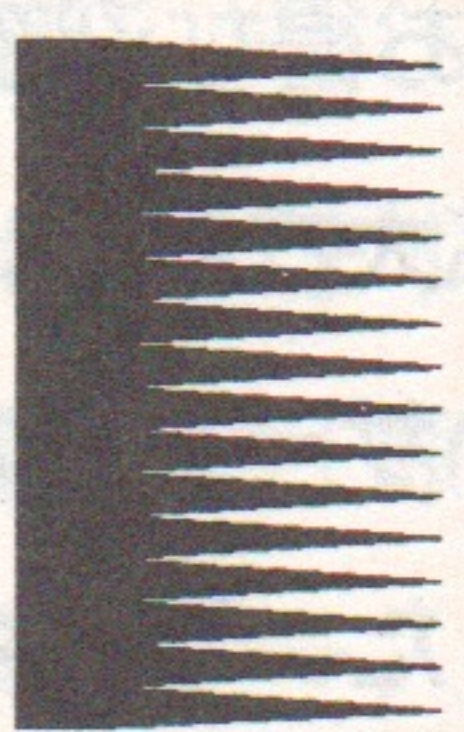
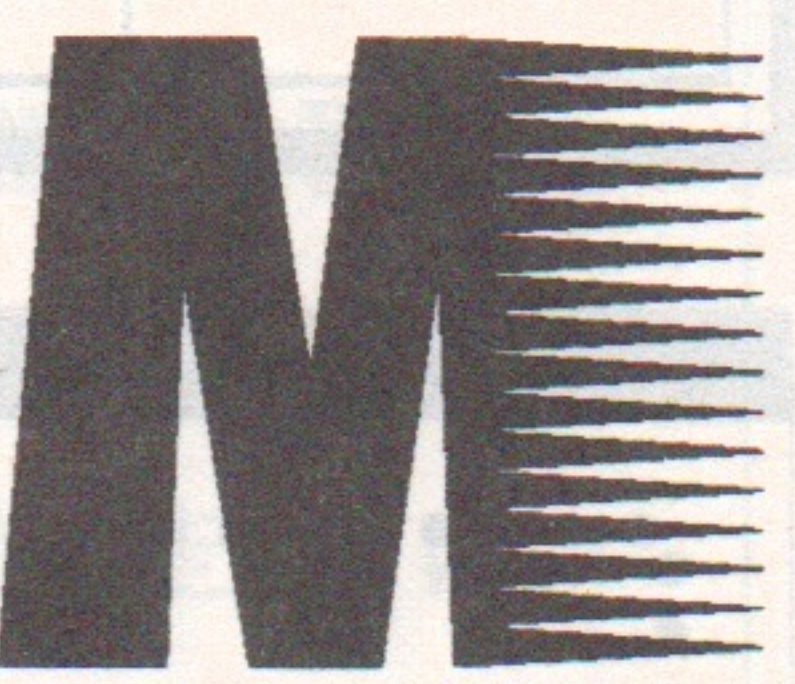
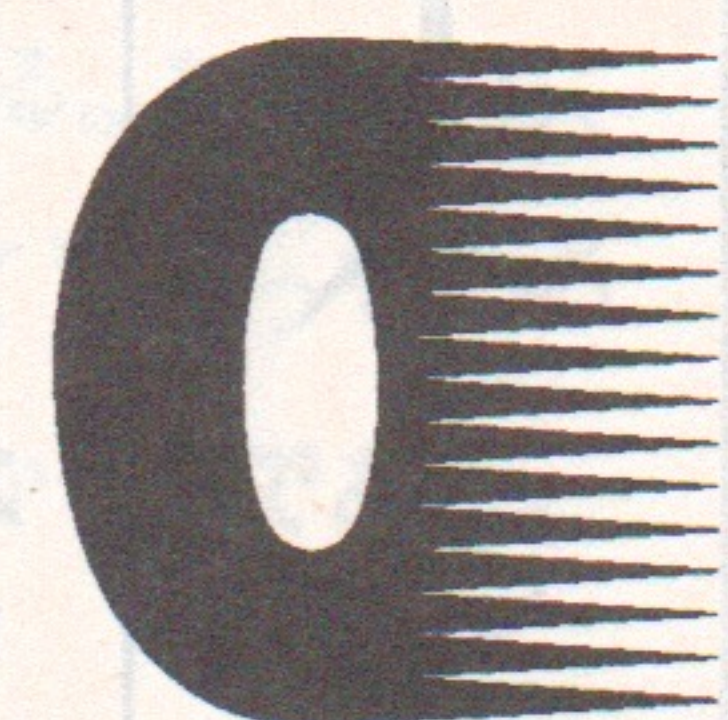
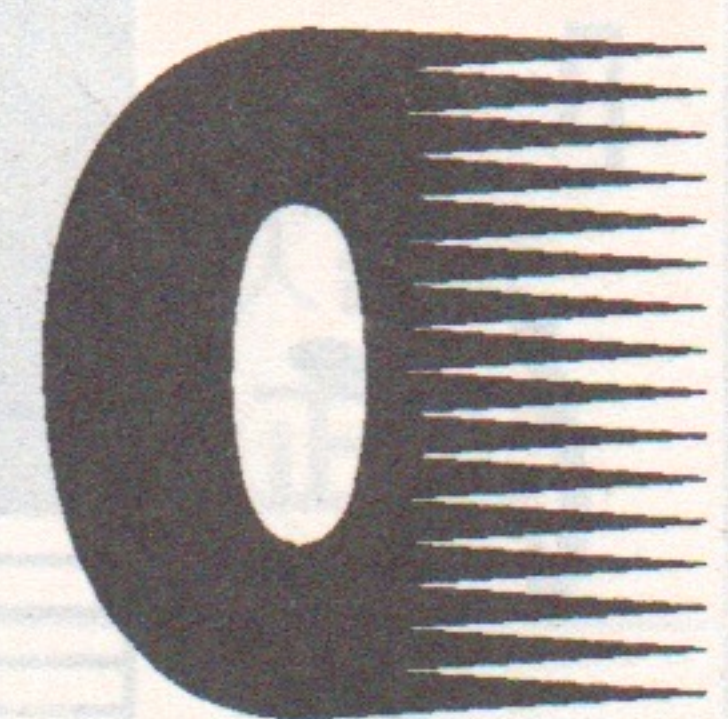
◆スポーツ交流事業

ニューヨーク市との間で少年軟式野球チームの相互派遣を行い、親善試合、選手宅ホームステイ、東京近郊見学などで友好親善をはかります。また、日本と地理的、歴史的につながりの深い北京・ソウル・ジャカルタと東京の4都市で、少年サッカー大会を持ち回りで開催し、親善試合、交流行事を実施して親交を深めています。

◆地域国際化事業

国際交流、国際協力に携わっているNGOや市民団体と協力して、地域の国際化を促進するため地球市民フォーラムを開催します。また、道府県等の地域国際化協会や都内区市町村の国際交流





協会との連絡会議の連絡調整を行い、情報提供などで交流をサポートしています。

◆民間国際交流事業助成

国際市民協力・交流事業に貢献する民間団体の活動を支援するため、またそういう団体の立ち上がりの手助けとして、助成事業を実施。都民が行う活動の支援を行うことによって、市民レベルの国際協力・交流活動の活性化を図り、国際都市東京の街作りに努めます。この助成の対象となる事業は一般から公募し、審査によって選ばれています。

◆情報提供・広報出版

都民の国際交流・協力の促進や在住外国人の生活円滑化のための情報収集・提供、またそのための広報誌を発行しています。



■ 充実した施設とネットワークで、
■ 都と都民の活動をつなぐ要に。

東京国際交流財団の大きな役割は、それぞれの地域で行われている国際交流をサポートしたり、コーディネートすることにあります。東京都の市区町村に現在25ある国際交流協会ではそれぞれ特色ある交流を行っていますが、それらの団体のネットワーク化も財団の重要な事業のひとつです。現在、東京国際交流団体連絡協議会の事務局として、情報提供やコーディネートの活動をしています。

充実した施設を誇る「東京国際フォーラム」。'97年2月に、展示ホールや会議室、大小ホールを会場に開催された「TOKYO地球市民フェスタ'97」で、ここを訪れた方も多くのことと思います。現在は、地下1階に都民カレッジ生涯学習センター、

外国人観光案内などがあり、1階には交流ロビーが開設されています。この交流ロビーでは、情報コーナーに首都圏の文化・観光、国際交流・協力、国際フォーラムに関する情報の雑誌など、多彩なパンフレット、ポスターなどが展示されています。さらに、その一画にはAVコーナーも設置され、ビデオブース、CD-ROMブースもあり、東京をはじめ日本や世界の文化、観光、国際交流・協力など各種のソフトが自由に視聴できるシステムになっています。ときには静かな落ち着いたコーナーで、これらを鑑賞するのもいいのではないのでしょうか。

どんな立派な施設でも、それを有効に活用してこそ価値があるというもの。都民の一人として、もっと利用したいと思いながら見学しました。

財団では、もっと都民が気軽に使えるようなシステムにし、ここに来れば国際交流に関する情報がそろそろ拠点となることをめざしているということです。将来の国際交流の輪を拡大し、東京都や市区町村と都民の間をつなぐ扇の要として、東京国際交流財団が担う役割はたいへん大きいものがあると感じました。

(資料提供/東京国際交流財団)



『試験』について(1)

「正しい日本語」とは何か

日本大学講師

福田 知行

毎年12月が近づくと日本語学習者の間で「日本語能力試験」が話題になります。「日本語能力試験」とは、財団法人日本国際教育協会(国内)と国際交流基金(国外)が毎年12月の第一日曜日に実施している、「日本語能力を測定し、認定する」試験です。1級から4級まであり、「英語検定」と似ていますが、日本では大学受験の受験資格とする大学が多く、国外でも就職などに必要な人もいて、応募者数もかなりの数になります(1996年度は全世界で約11万5千名)。

私は以前、受験生用の英語の試験問題を作っていたことがありますが、特に短文を使った文法問題では状況設定が難しく、問題作成者が「普通」だと考えた状況を想定して作るため、問題作成者の思い込みがある場合は不適切な問題が出される危険性があります。

たとえば、1993年の4級に次のような問題がありました(空所補充問題)。

A「えきからがっこうまではとおいですか。」

B「いいえ、_____。」

選択肢は次の4つです: 1「あるいて3ぶんです」、2「あるいて3ぶんかかります」、3「3ぶんあるきます」、4「3ぶんあるいています」。

正解は1番だそうですが、私にはなぜ2番が間違いなのかわかりません。少なくともこれだけの

状況なら2番も普通に使われるだろうと思うからです(3番も使われる可能性があります)。おそらく問題作成者は、「とおいですか」という形容詞の質問には「です」で答えるべきだと考えたのかもしれませんが、実際に使われている日本語はそれほど単純ではありません。たとえば、「はい/いいえ」で答える質問の場合、動詞文(動詞で終わる文)ではその答えとして「です」は使えませんが、動詞文でも疑問詞があれば「です」も使えるようになります。

(1)「この本を読みましたか」「はい、(○) 読みました/(X) そうです。」

(2)「どの本を読みましたか」「(○) この本を読みました/(○) この本です。」

以上のことはほんの一例ですが、よく考えると、こうした危険性は「試験」というものには本質的に避けられないものなのかもしれません。



うれしい新サービスがスタート ヨルドニッチ

お得な深夜割引時間帯が拡大される、KDDのうれしいサービスがスタートしました。その名も「ヨルドニッチ(夜土日)」。テレビのCMで人形がコサックダンスを踊りながら宣伝していると言え、

思い当たる方も多いと思います。

この「ヨルドニッチ」に登録すると平日午後9時~翌朝8時の間、土日祝日は終日(通常は午後11時~翌午前8時)



が深夜割引料金となり、昼間時間帯でのご利用より23~39%割安となります。

また、すでにおなじみの割引サービス「KDDファミリートーク」「KDDかけどくクーポン」との組み合わせによ

って、さらに割引率が高くなります。詳しいサービス内容のご案内をご希望の方は、下記の電話番号まで今すぐお電話を!!



お問い合わせ・お申し込み専用ダイヤル

0120-81-0057

(受付時間/毎日 10:00~20:00)

外国人のための 生活ケア講座 総集編

今回は、これまでに8回にわたってこのページでご紹介してきたさまざまな相談窓口やサービス機関など、イザというときに役立ちそうな情報をまとめてご紹介します。学習者から相談を受けたとき、外国人がなにかで困っているときなど、ぜひ参考にしてください。

◆医療相談窓口◆

●AMDA国際情報センター

〒154 世田谷区新町2-7-1 横尾ビル201

Tel 03-3706-4243、03-3706-7574

Fax 03-3706-4420

月～金9:00～17:00 土9:00～13:00

日本語、英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語

◆アルバイト紹介◆

●(財)内外学生センター

東京第一学生相談所

〒161 新宿区上落合1-17-1

Tel 03-3591-9103

月～金9:00～17:00

日本語、英語

●(財)内外学生センター

東京第二学生相談所

〒160 新宿区四ツ谷1-2

Tel 03-3359-5997

月～金9:00～17:00

日本語、英語

◆法律相談窓口◆

●東京弁護士会「外国人権救済センター」

(問題により有料)

〒100 千代田区霞ヶ関1-1-4

Tel 03-3381-2302

木13:00～16:00

日本語、英語、中国語

●第一東京弁護士会

「外国人法律相談窓口」(有料)

〒100 千代田区霞ヶ関1-1-4

第一東京弁護士会館内

Tel 03-3580-3650

金13:00～15:00

日本語、英語、中国語

◆外国人学生相談窓口◆

●(財)日本国際教育協会

「留学情報センター」

〒153 目黒区駒場4-5-29

Tel 03-3485-6827

月～金9:30～12:00 13:00～17:00

日本語、英語

●(財)アジア学生文化協会「留学生相談室」

〒113 文京区本駒込2-12-13

アジア文化会館

Tel 03-3946-7565

月～金9:00～17:00 土9:00～12:00

日本語

●東京YMCA「留学生相談室」

〒101 千代田区神田駿河台1-8

東京YMCA会館内

Tel 03-3293-5421

月～土(水を除く)14:00～18:00

日本語

●ボランティアグループ留学生相談室

〒151 渋谷区富ヶ谷2-44-9

けんもつ第一ビル4階

Tel 03-3465-7550

月～土10:00～18:00(電話)

13:00～18:00(面接)

◆交通事故・損害相談窓口◆

(電話のみ)

●(財)日弁連交通事故相談センター本部

Tel 03-3580-1892

月～金10:00～16:00 土10:00～12:00

●(財)日弁連交通事故相談センター

東京本部

Tel 03-3581-1770

月～金13:00～15:30

●法律扶助協会東京支部テレフォンガイド

Tel 03-3580-2230

月～金13:00～15:00

●警視庁外国人困りごと相談コーナー

Tel 03-3503-8484

月～金8:30～17:15

◆交通事故・損害相談窓口◆

(面接のみ)

●小金井交通事故相談所

〒184 小金井市中町4-15-14

小金井市福社会館3階

Tel 0423-83-7590

月～金9:00～11:00 13:00～15:00

●(社)日本損害保険協会東京相談センター

〒101 千代田区神田駿河台2-1-20

お茶の水ユニオンビル3階

Tel 03-3259-7931

月～金9:30～16:30

●(社)日本損害保険協会新宿相談センター

〒151 渋谷区代々木2-11-15

新宿東京海上ビル3階

Tel 03-3379-2355

月～金9:30～16:40

●(社)日本損害保険協会立川相談センター

〒190 立川市柴崎町2-3-6

立川第一生命ビル3階

Tel 0425-25-9216

月～金9:30～16:30

◆悩みごと相談窓口◆

(英語)

●外国人のためのいのちの電話

Tel 03-3264-4347

毎日9:00～16:00 19:00～23:00

●ジャパン ホットライン

Tel 03-3586-0110

月～金10:00～16:00

◆救急病院◆

●東京消防庁テレホンサービス

年中無休、24時間対応

Tel 03-3212-2323(東京23区)

Tel 0425-25-0119(それ以外の地域)

NETWORK INFORMATION

日本語ボランティア 入門講習会

これから日本語ボランティアを始めたい方のための「日本語ボランティア入門講習会」は、日本語ボランティアに役立つ基礎知識の講座です。初めて日本語ボランティア活動に参加する方はぜひ受講してください。どの回からでも受講可能で、全4回を受講された方には修了証をさしあげます。

◆日時

'98年1月12日(月) 午後2～4時

'98年1月26日(月) 午後6～8時

'98年2月9日(月) 午後2～4時

'98年2月23日(月) 午後6～8時

◆テーマ

(1月)どのように日本語を教えるか

(2月)日本語ボランティア入門

◆会場/東京ボランティアセンター 学習室

(JR・地下鉄 飯田橋駅下車 徒歩1分)

◆参加費/1回 600円 (TNVN会員は300円)

◆参加申込み/直接、会場へおこしください。

日本語ボランティア相談

日本語ボランティア相談窓口では、日本語ボランティアに関するご相談・ご質問にTNVNのベテランスタッフがおこたえします。お気軽にご利用ください。

◆日時/毎週月曜日 午後2～7時

◆会場/東京ボランティアセンター

◆電話でご確認の上、お越しください。

TEL:03-3235-1171(呼出し)

TNVNの活動情報へ パソコンでアクセス!

インターネットやパソコン通信のTNVN活動情報にアクセスして、日頃の活動にお役立てください。また、TNVNへの要望や意見などもお待ちしております。

<TNVNホームページ>

TNVNの講習会など活動情報や教室ガイドの情報も掲載しています。

◆URL:<http://www.t3.rim.or.jp/~tnvn/>

◆MAIL ID:tnvn@t3.rim.or.jp

<NHKボランティアネット>

◆アクセス方法

1 電話番号 03-3375-1072 にアクセスし、ID番号を半角で「NVN20000」と入力する。

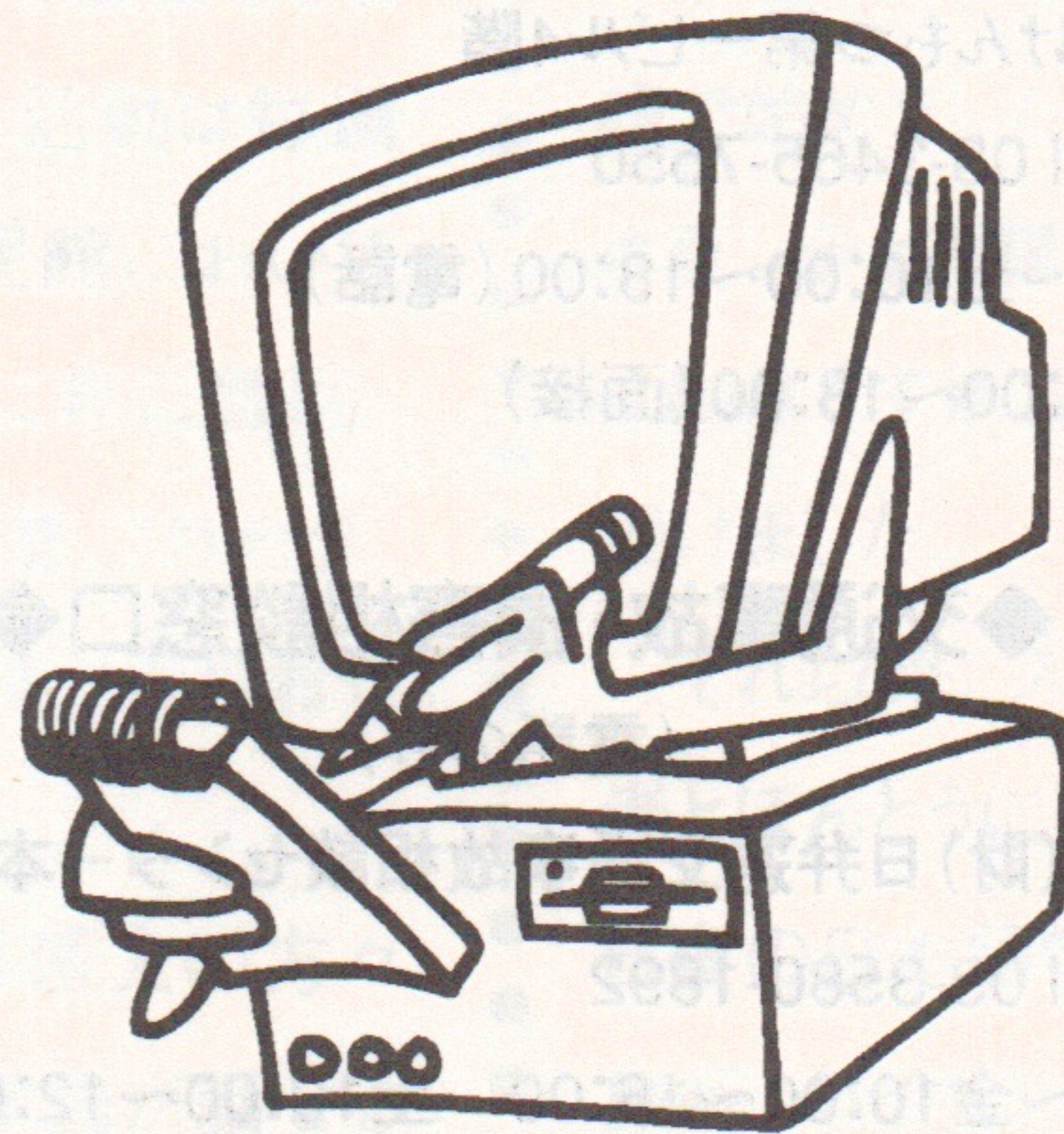
2 returnキー(または改行キー)を押す。

※なお、上記のホームページにボランティア募集やイベント参加者募集などの情報掲載をご希望の方は、下記までご連絡ください。

◆担当/前田 恭子

FAX:03-3412-6711

E-MAIL:QYF06475@niftyserve.or.jp



「日本語ボランティアの活動と ボランティアの意識調査」を実施

TNVNでは、東京都教育庁の平成9年度社会教育関係団体に対する助成の対象として、「日本語ボランティアの活動とボランティアの意識調査」を実施しています。これは、東京における日本語ボランティアの活動実態やその意識を調査することによって、日本語ボランティア活動の活性化をはかること、あわせて、地域社会の人々や行政関係者等にひろく日本語ボランティアの現状や問題点をアピールすることがその目的です。すでにTNVN会員をはじめ都内の日本語ボランティア活動をしている人々を対象にアンケート調査を実施。この結果は、'98年春頃に報告書として編集され、TNVN会員をはじめ自治体等の関係方面に配布の予定です。

TNVN事務局の連絡先

TNVN事務局は、原則として毎週月曜日午後1～8時に東京ボランティアセンターで活動をしています。

TNVNへのお問い合わせ等は、下記までなるべく郵便かFAXでお願いいたします。

〒162 東京都新宿区神楽河岸1-1

東京ボランティア・センター 気付

TNVN東京日本語ボランティア・ネットワーク

TEL:03-3235-1171 (呼出し/月曜日のみ)

FAX:03-3235-0050

ボランティア日本語教室ガイド'97、配布中!

最新の「ボランティア日本語教室ガイド'97」には、145クラスの活動情報を日本語と英語で掲載。あわせて、外国人のための情報源や相談窓口などのデータも掲載しています。ご希望の方は、東京ボランティアセンターの窓口へ直接おこしいただくか、郵便振替で料金をお払込みください。入金を確認次第、郵送します。

◆領布価格(実費)/1冊600円

郵送希望の場合は送料込み1000円

◆払込み先/郵便振替口座番号
00100-1-719259

(通信欄に「教室ガイド」と記入)

◆加入者名/東京日本語ボランティア・ネットワーク

SIC ファミリークッキングの お知らせ

国際交流の活動をしている「SIC すみだインターナショナルクラブ」では、毎月、世界の料理をその国の人と作って食べる「SIC ファミリークッキング」を開催しています。1月は、ペー・スンジュさんの韓国料理です。材料準備の都合上、事前の申し込みが必要となりますので、下記までご連絡ください。なお、当日はエプロンをご持参ください。

◆日時/'98年1月10日(土) 午後5:30～

(途中からでも参加可)

◆会場/すみだ女性センター

(京成線押上駅3分 東武線業平橋駅7分)

◆参加費/500円

◆申し込み・問い合わせ/SIC

(Sumida International Club)

阿相 なおみ

TEL/FAX:03-3610-4308

「移住労働者と連帯する 全国ネットワーク」設立

古くから外国人の人権問題にとりくんできた団体が、共同してその問題解決にあたり、共通・共有の情報をもち、さらに対政府・行政交渉の窓口として機能することをめざし「移住労働者と連帯する全国ネットワーク」を立ち上げました。

これは、「下からの国際化」をより具体的に市民レベルで創りあげていこうというもので、その意味ではボランティア日本語教室に携わっているみなさんと同じ問題意識がベースになっているものと考えます。関心のある方々の参加をお待ちしています。

◆連絡先/移住労働者と連帯する全国ネットワーク事務局

〒169 新宿区西早稲田2-3-18-24NCC気付

TEL/03-3207-7801

FAX/03-3204-9495(担当/小笠原)

「日本語能力試験1級 直前対策問題集」を発行

国際交流ネットワーク「駒場日本語教室」のメンバーが中心になって、2年がかりで作った「日本語能力試験1級直前対策問題集」ができました。

<文字・語彙><文法>分野の13回分の練習問題は、主に新聞記事をもとにして作られています。日本や世界が抱えているさまざまな問題を取り上げているので、問題練習だけでなく討論の材料として使うことができます。各地域のボランティア日本語教室の<能力試験クラス>や<上級クラス>の教材としてご利用ください。書店にない場合は、下記にご連絡ください。

◆連絡先/マルモ出版

TEL:03-3496-7046 FAX:03-3496-7387

駒場日本語教室・後藤

TEL:0423-72-9716(日曜のみ)

MXテレビ「都政出前講座」 収録参加者を募集

東京初の地元ローカル局として誕生したMXテレビでは、毎週月曜～金曜日の午後8時45分から9時まで、都民参加型の公開講座番組「都政出前講座」を放送しています。今回は「都民相談」をテーマに、外国人相談をはじめとする各種の相談について討論をする予定です。そこで、この番組の収録に参加するお客様を募集しています。都民相談について関心のある方・疑問がある方など、ぜひご参加ください。

◆収録日時/'98年1月14日(水)

午後1～4時30分

◆会場/世田谷区立烏山会館

(京王線千歳烏山駅 徒歩1分)

◆連絡先/MX-TV

「スクウェア1200 都政出前講座」

TEL:03-3343-1200

FAX:03-3343-1205

(担当:新井田・若林)

シャプラニール Bangladesh Study Tour

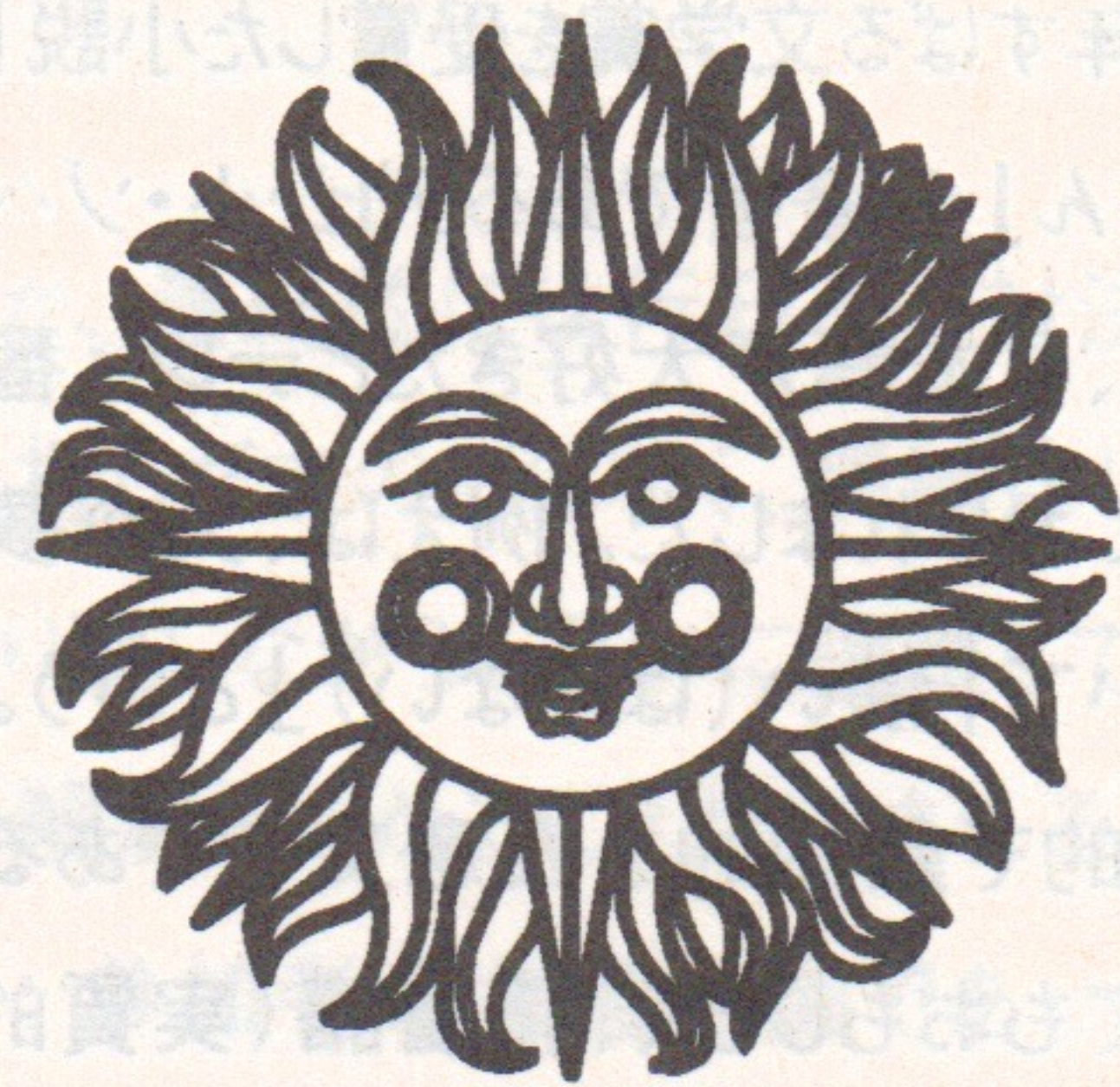
Bangladeshにおいて生活向上に取り組む農民への協力活動をすすめてきたシャプラニール=市民による海外協力の会では、中高生を対象とした「Bangladesh Study Tour」を企画。NGOの活動の現場を見ることで海外協力に対する理解を深め、国際協力のあり方を考えるためのものです。関心のある方は下記までお問い合わせください。

◆日程/'98年3月26日(木)～4月3日(金)

◆訪問先/Bangladesh(首都ダッカとシャプラニールが活動している農村地域)

◆募集対象/①中学生 ②高校生あるいは満15～18歳(①②とも健康な男女)

◆募集人員/①②合わせて10名
(スタッフが東京から同行)



◆参加費/20万円(往復航空券代・宿泊費・会費・現地交通費・保険料含む)

◆申し込み締切り/'98年1月31日(土)必着

◆応募方法/①参加申し込み書1通

②作文(400字詰め原稿用紙3枚で「国際協力」に関するテーマで)

①②を郵送、または直接事務所へ持参。

なお、応募書類は返却しません。

◆申し込み・問い合わせ/

シャプラニール=市民による海外協力の会
新宿区西早稲田2-3-1 早稲田奉仕園内

TEL:03-3202-7863

FAX:03-3202-4593

BULLETIN BOARD

SPECIAL THANKS

- ★KDD 国際電信電話(株)様
サポートプログラムによる支援金、ニュースレターの印刷にご協力いただきました。
- ★財団法人 東京国際交流財団 様
快く取材に応じていただきました。

メディアに見る・TNVN情報

- ◆東京都議会議会局広報課 発行
『都議会レポート』'97年12月号
TNVNの活動と中田代表の紹介
- ◆クムスタ コミュニケーションズ 発行
『KUMUSTA!』'97年No.23
TNVNの活動とボランティア日本語教室の紹介

WELCOME! 新入会員のご紹介

- ◆正会員(団体)
定住外国人支援ネットワーク(小平市)
 - ◆協力会員(個人)
谷口 正樹 (敬称略)
- '97年12月20日現在の会員数は、正会員78団体・協力会員108名・賛助会員12です。

事務局DIARY

1996年すばる文学賞を受賞した小説「いちげんさん」の著者であるデビット・ゾペティさんは、日本語が大好きだとテレビ番組で言っておられました。例えば、人が夢見ると書いて「儂い(はかない)」というように絵画的で象徴的な表意文字である漢字がとてもおもしろく、膠着語(実質的な意味が最後に来ること)である日本語の文も、最後まで読まなければどうなるか判らないおもしろさがあるとのことでした。

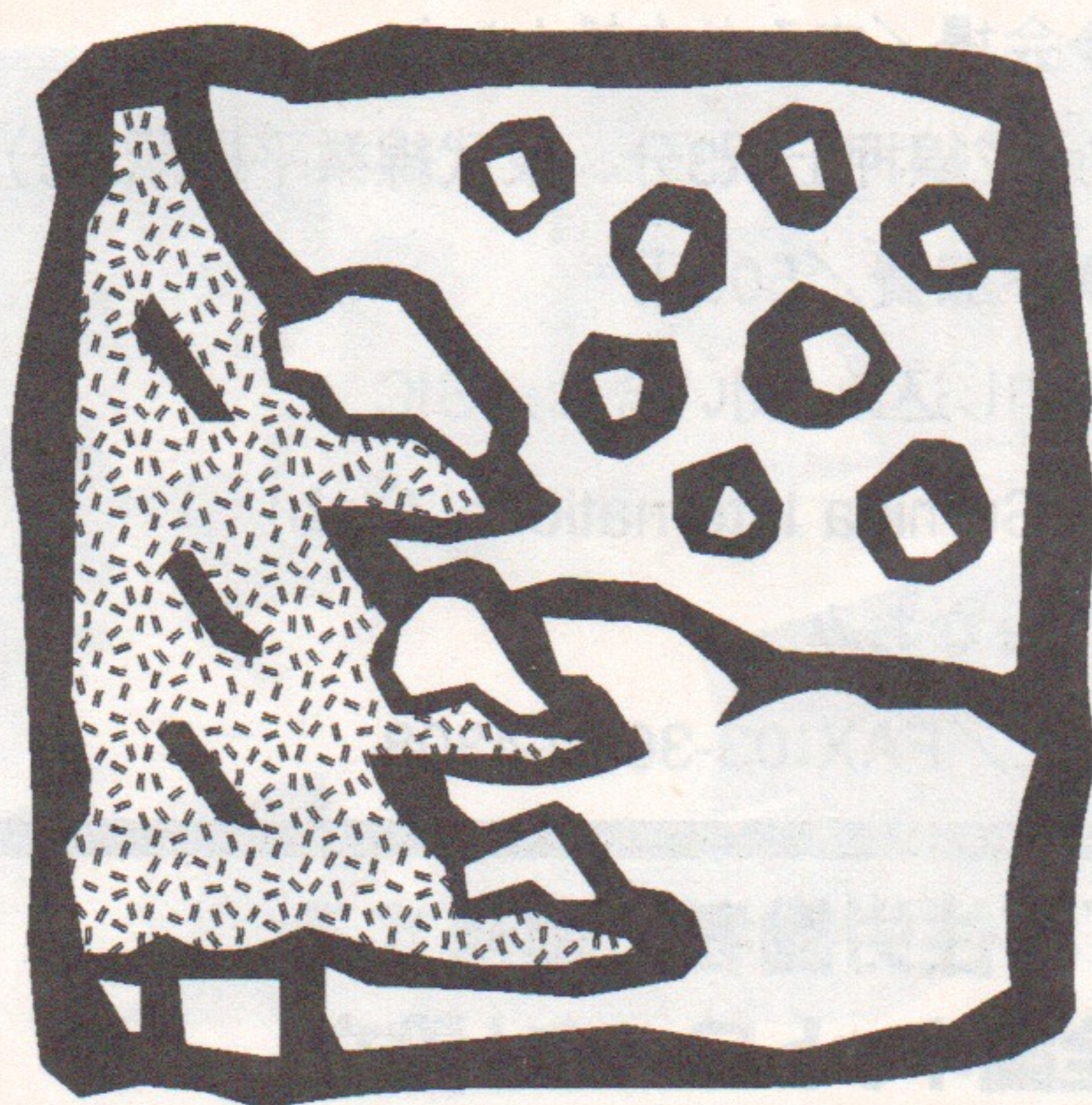


今まで日本語に対して聞いていたことと比べ、このような感じ方があるのかと驚きの気持ちで聞きました。言葉とは、なんと不可思議なものでしょう。また、言葉は人間同士の意思を伝達するために存在し、あらゆる国の言葉は対等であるという言葉も、私にとって忘れてはならない言葉です。

日本語ボランティアに係わっている一人として、「言葉」を通してお互いの文化を共有し、誰とでも対等な立場で交流できるようなお手伝いができればこんな素晴らしいことはありません。

これまでTNVNの活動として実に多彩な事業が行われてきました。この12月で設立から4周年。来年の'98年は5年目を迎え、また新たなTNVNの活動がスタートします。

石橋 恭枝 (TNVN運営委員)



編集後記

☺ 東京は银杏の葉も散って、冬が訪れようとしています。紅葉狩りに行けなかったので、これで我慢しようと思っていたら、落ち葉で足を滑らし、転んでしまった! はずかしい…。

Sumiko

☺ いつものように慌ただしい季節となって、過ぎ去った1年の早さととまどっています。仕事・勉強・買い物・娯楽など、ますます日本語以外のフィールドでの交流のウエイトが高くなったようなこの頃です。

🐾 KYOKO

今回のニュースレターは発行日が遅れ、ご迷惑をおかけした方々にお詫び申し上げます。来年もより充実した紙面作りに努力したいと思います。みなさまのご意見・ご要望など、お待ちしております。



発行人/中田紀子 編集人/前田恭子
レイアウト/鶴田環恵

T N V N と は

TNVN東京日本語ボランティア・ネットワークは、ボランティア日本語教室活動を行っている団体のネットワーク(連絡協議会)として、情報交換や活動の活性化を図ることを目的に、1993年12月に結成

されました。TNVNの会員はそれぞれの地域で日本語教室活動を通じて、言葉のために日常生活に不自由している外国人などを隣人として支援しています。

